

お知らせ

第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会

テーマ：社会参加・職場復帰を目指して

会 長：蜂須賀研二（産業医科大学リハ医学講座）

会 期：2012 年 5 月 31 日（木）～6 月 2 日（土）

会 場：福岡国際会議場・福岡サンパレス（福岡市）

参加費：HP より 4 月 10 日までに事前参加登録：

会員・非会員医師 14,000 円，医師以外の非会員
5,000 円（事前登録期間を延長しました。）

当日受付：会員 16,000 円，医師以外の非会員
6,000 円，学生 3,000 円（学生には事前参加登録割
引はありません。）

プログラム：詳しくはホームページをご参照くだ
さい。

会長講演：リハ医学：社会参加と職場復帰

特別講演：① 産業医学とリハ（大久保利晃），② 産
業医科大学による福岡第一原発事故の産業医支援
活動（森 晃爾），③ これからの日本の専門医制
度の在り方（池田康夫）

招待講演：①「Robotics in rehabilitation」Esquenazi A
（Moss Rehab & Albert Einstein Med Center, USA），②
「Enhancing stroke recovery」Stein J（Columbia Univ
College of Physicians and Surgeons, USA），③「Post-
polio syndrome」Gonzalez H（Danderyd Hosp, Sweden）

招待教育講演：「Fibromyalgia and rehabilitation」

org-Stein J（Harvard Med School, USA）

シンポジウム：① 障害者の社会参加と職場復帰，②
広域および都市部における地域連携パスの運用，
③ リハ医療におけるロボット訓練の臨床的意義，
④ 脳障害者の自動車運転，⑤ 脳卒中上下肢痙縮に
対するボツリヌス療法，⑥ 社会参加を目指した新
しい地域リハのあり方，⑦ 機能回復治療の最前
線，⑧ 高次脳機能障害のリハ―診断，治療，支援
のエビデンス

教育講演：① 嚥下障害リハ入門Ⅰ～Ⅲ，② 高次脳機
能障害の鑑定，③ 脊髄損傷リハの王道と再生医療
時代の戦略，④ 関節リウマチ治療の現状とリハ，
⑤ がんのリハ，⑥ 内部障害リハ：理論と実際，⑦
リハ科医が知って役立つ身体障害者手帳の診断
書・意見書の書き方，⑧ 脳性麻痺のリハ，⑨ 外傷

性脳損傷の急性期治療，⑩ 脳卒中急性期のリハ，
⑪ 膝靱帯損傷のリハ，⑫ 片麻痺回復のための促通
反復療法の理論と効果，⑬ 医療倫理，⑭ 末梢神経
障害の外科治療とリハ，⑮ すぐに役立つ変形性膝
関節症の診断方法とリハ，⑯ すぐに役立つ脳卒中
片麻痺の診察方法とリハ，⑰ 運動器症候群入門：
ロコモと運動器不安定の違い，⑱ 脳卒中リハと地
域連携：回復期から生活期へ，⑲ 大腿骨近位部骨
折患者の手術リスク評価と移動能力予測，⑳ すぐ
に役立つパーキンソン病の障害評価とリハ

サテライトシンポジウム：脳卒中片麻痺患者は必要
かつ十分なりハを受けているか？

Meet the Expert：「リハ基礎医学の勧め」をテーマ
に，日本リハ医学会の大先輩のお 2 人（米本恭三
先生；元慈恵会医科大学，千野直一先生；元慶應
義塾大学）からの話題提供後，参加者からの質問
にお答えします。若手リハ医 20 名程度を学術集
会ホームページ上で募集しています。

50 周年記念事業カウントダウン企画：特別企画パ
ネル展示「九州におけるリハビリテーションの歩
み」

市民公開講座「脳卒中介護の苦労と喜び」

日 程：2012 年 6 月 2 日（土）13：30～16：00

会 場：福岡サンパレス 2F「パレスルーム」

対 象：脳卒中患者・家族，一般市民，医療関係
者，医療福祉関係者（参加費無料），お
よび日本リハ医学会会員

ゲスト：多田式江（故多田富雄東大名誉教授夫人）

「夫 多田富雄を在宅でケアした 9 年間
を振り返って」

小山明子（映画監督大島渚夫人）

「二人三脚で乗り越えた介護の日々―今
日も二人で」

問い合わせ先：☎810-0001 福岡市中央区天神 1-
9-17-11F（株）コングレ九州支社

Tel 092-716-7116 Fax 092-716-7143

E-mail：jarm2012@congre.co.jp

URL：http://www.congre.co.jp/jarm2012/